

バローロ混声合唱団

第12回 定期演奏会

ヨハネス・ブラームス

ジプシーの歌 より

運命の歌

子守唄

林 光

うつくしいのはげつようびのこども

(マザー・グース歌曲集 訳：谷川 俊太郎)

松平 敬

編曲 昭和と平成のヒット曲

およげ！たいやきくん

いい日旅立ち

暴れん坊将軍のテーマ

マツケンサンバII

新実 徳英

幼年連祷 (詩：吉原 幸子)

2025年 **10月 4日 (土)**

14:00 開演 (13:30 開場)

浜離宮朝日ホール

入場料1,500円 (全席自由)

未就学児のご来場はご遠慮ください

指揮

松平 敬

ピアノ

砂川 京子

チケットのお求めは右記
または直接団員まで
(当日券もございます)

お問い合わせ：

奥 (090-2223-5928)

email: barolochorus@gmail.com

バローロ混声合唱団ブログ

<http://barolo.seesaa.net>



バローロ混声合唱団

バローロ混声合唱団は1998年に発足しました。イタリアの高級ワイン“Barolo”にちなみ、熟成したハーモニーを目指して活動を続けています。月2回土曜日の午後、おもに目黒区で練習しています。2001年に松平敬先生を指揮者として迎え、2003年には第1回、その後は2年に1度の定期演奏会を開催しています。2021年の第10回記念定期演奏会では松平先生が弦楽四重奏とピアノ版にアレンジした、モーツァルトのレクイエムを演奏しました。団員の経歴や合唱経験はさまざまですが、和気あいあいとした雰囲気合唱団です。松平先生は、バスからソプラノまでの超人的な声域をもち、どのパートでも実音でお手本を示されます。音楽以外にも造詣が深く、ユーモアあふれるお話も魅力です。砂川先生には、創団以来ずっとご指導をいただいています。鍵盤を通して陰に日向に、絶妙にサポートしていただきます。



2023.10.21. 第11回定期演奏会@紀尾井ホール

松平 敬 Takashi MATSUDAIRA

指揮



©Studio LASP

東京芸術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、松平頼暁、高橋悠治、西村朗、川島素晴など約200曲の作品を初演、クセナキス、シュトックハウゼンなど、演奏至難な作品の日本初演も行う。これまでサントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場、コンポーザム（東京オペラシティ財団）、東京・

春・音楽祭などに出演。CD録音においても、一人の声の多重録音を駆使した『MONO=POLI』（平成22年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞）など4枚のアルバムを発表。チューバの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義でも2枚のCDをリリース。2019年には著書『シュトックハウゼンのすべて』（アルテス・パブリッシング）を出版。第32、34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞。

砂川 京子 Kyoko SUNAGAWA

ピアノ



東京学芸大学芸術課程音楽科ピアノ専攻卒業、同大学院修了。岡崎悦子、高澤ひろみ、故松浜恵子の各氏に師事。神奈川県立音楽堂推薦音楽会出演。カワイクラシックオーディションピアノ伴奏部門で優秀賞受賞。合唱団、声楽、管楽器の伴奏ピアニスト、ピアノデュオなどの演奏活動を行いながら、

これまでに大学の子ども学科、高等教育専門学校で保育・初等科の非常勤講師を務め、今年度は川崎市内の高校の音楽非常勤講師を務める。

おねがい

- ・出演者への花束・贈り物等のプレゼントはご辞退申し上げます。
- ・未就学児のご来場はご遠慮ください。

浜離宮朝日ホール

アクセス

築地市場駅（大江戸線）A2出口すぐ

*A2出口はエスカレーター、A3出口はエレベーターがごさいます。

築地駅（日比谷線）1、2番出口 徒歩 8分

東銀座駅（日比谷線/浅草線）6番出口

徒歩 8分

汐留駅（大江戸線/ゆりかもめ）

徒歩 10分

新橋駅（JR/銀座線/浅草線）

徒歩 15分

